

## エネルギー・環境の選択肢に関する意見聴取会

### 意見表明者の意見概要一覧（高松会場）

意見表明番号	意見表明概要
1 15 シナリオ	現状を維持した場合と、15シナリオでどのように我が国の経済状況が変化するか。主として日経平均株価下落との関連について。
2 0 シナリオ	原発の安全神話は崩れただけでなく万一の場合は甚大な被害をもたらす教訓を得た。唯一の核被害国として安全と引換えに利便を捨てる必要がある。本当に次世代の事を考えているなら核の廃棄物を含めて原発から脱却する必要がある。
3 3つのシナリオ 以外	<ul style="list-style-type: none"><li>・全原発を廃炉にする。(未来に負の遺産、使用済み核燃料を増やさない)</li><li>・3・11以後の福島の友人達の体験</li><li>・現代の過剰な消費生活、人口減少に対する戦略変換の必要性</li><li>・経済成長よりも安心して生きられる社会の構築</li><li>・ゆるやかな小国家が良い</li></ul>
4 20-25 シナリオ	事故が起きたから即中止は少し暴論かも？ 国全体で考えれば、電力は絶対に必要なエネルギーで化石燃料で賄うと貿易収支の不均衡が発生する懸念があります。 電気代の高騰で国内産業が国外進出すれば雇用喪失の懸念があり、産業の空洞が発生し二度と国内回帰は起きないでしょう。 反対されるのは心情的に理解できますが、何だか皆さんパニックになっているように思われます。 今こそ冷静さが求められているのでは？
5 20-25 シナリオ	東北電力女川原発は地震による被害はあったものの津波被害からは免れた事からも、東電福島原発事故は政府・東電の危機管理の認識の甘さによる人災だと思う。 このことから地震に対する耐震性はあると考えられるので津波対策をきっちりおこなえば原発の安全は確保できると思われる。 日本の経済・景気を考えると現在程度の原発依存度は必要だと思われる。 原発とコストが変わらない代替エネルギーが開発された時に、原発の廃止を検討すれば良いと思う。

<p>6 15シナリオ</p>	<p>1992年に今日を予測できなかったように、約20年後の未来を予測することは誰にも出来ない。現状では、原発への依存度を低減しつつ、代替エネルギーの開発を推進することが現実的な案であり、20年後を生きる我々とその子孫への責任のあるメッセージであると思う。私を含め多くの方が「明日から原発のない社会に暮らしたい」と考えていると思う。しかし将来目指すべき社会の姿と、今向き合わなければいけない現実的な課題は、切り離して考え、融和させるべきである。将来目指すべき社会の姿の一つとして、2030年以降「原発ゼロ」を模索する試みは継続するべきであるし、原発事故の検証、安全への取り組み、被害者への賠償は着実に行うべきである。しかし、それを達成するまでの年月を「いかに生きるか」ということも同時に問われている。これまでに多大な費用と労力をかけて築いた社会の仕組みを短期間で「価値のないもの」にすることは出来るだけ避けるべきだ。似たようなものにはガス、水道、電話、公共施設、放送、社会保障、交通機関等があげられる。こうした社会生活に欠かせない仕組みは、それが成立し、成熟した過程と同程度の時間を費やし「考えながら換えていく努力」が求められるのではないか。以上のことから今日の時点では15シナリオを支持する。</p>
<p>7 3つのシナリオ 以外</p>	<p>30%以上。欠陥構造の原子炉の結果をすべてに当てはめるのはおかしい。現実には他の原子炉は地震に耐えている。政府のあたふたした大衆迎合の対応姿勢が国民の不安を煽った。事実は政府のあたふたした大衆迎合の対応姿勢が国民の不安を煽った。再生可能エネルギーもそう期待できないし、政府の試算は甘すぎるし、蓄電システムとのタイアップということなら、単純に売電価格だけでは計算できない。太陽光などは土地代も値上がりするだろう。何よりも不安定で高価な電力は産業、ひいては国民生活を荒廃させる。そうすればフクシマとは比較にならないリスクを伴うのではないか。</p>
<p>8 0シナリオ</p>	<p>原発は2030年までではなく、即時ゼロにすべきです。 国民に意見を求めるなら、原発の存在自体を倫理として問うべきではないか？ 事故の責任者を刑事処分することから始めるのが本筋です。 死の灰処分問題、子孫に残すことを恥ずかしく思わない者共が、原発を維持しようと暗躍しています。虫唾が走ります。</p>
<p>9 0シナリオ</p>	<p>放射性廃棄物の処理方法が確立されてない、これ以上増やすべきではない。 活断層の上に建つ原発が多いうえ、地震国日本に原発は向いてない。 産業より命が大事。 電力はたりている。 自然エネルギーに転換 などなど</p>

10 0シナリオ	いまや世界はクリーンエネルギーの時代です。世界の流れに取り残されないために。また地震列島、世界で唯一の原爆の被害を受けた国の住人として
11 0シナリオ	<p>(理由 1)日本経済の将来的な展望から</p> <p>日本経済の将来的な展望を考えれば、投資先が見出し難い経済状況の中で、自然エネルギー市場ほど有望なものはない。原子力は今や世界的に信用を失い、もはや完全に時代遅れのものである。日本は非核国として国際的な評価もあり、わが国が自然エネルギー産業を率先すれば、未だ原子力にこだわる他国を凌駕することもできる。石油も自動車も当初は幼稚産業だったが、これを育成した米国は隆盛できた。なぜ日本が、脱原発に先んじたドイツが羨むほどすでに十分な技術力をもっているながら、自然エネルギー産業をこれからの国策としないのか、不思議なほどである。</p> <p>(理由 2)地震国としての危険性から</p> <p>福島原発の事故で明らかになったように、地震頻発国である日本において、原発を稼働させることは危険が大きすぎる。今でも福一の4号機が再度の地震で倒壊すれば、国土の半分はおろか北半球の広域において放射能汚染することが懸念されている。すでに7月末と夏本番だが、電気需給を見れば原発なしでも経済も生活も不自由していない。むしろ第2第3の原発事故による国土の汚染と居住環境の喪失、経済の破綻のほうがはるかに恐ろしい。</p>
12 0シナリオ	<p>日本は世界で最も地震の多い国です。これから巨大地震が続く可能性は十分にあります。歴史や最新の研究をみればあきらかです。それなのに安全対策が不十分で、使用済み核燃料を無害化できず、安全に保管できない状態で、原発を動かすのは大変危険です。</p> <p>子どもたち、次に世代への放射能の影響も危険です。</p>

8月3日（金）時点作成のため、当日意見表明する内容と異なる場合が有ります。